

2002年電波伝播実験

JJ1SXA 池

今年の伝播実験も、昨年に続き佐渡が島に移動、両津市のドンデン高原から参加しました。

どうせ泊りがけで出掛けるなら、1泊のトンボ返りではつまらないので、ちょっと7エリア方面に足を伸ばし、温泉で骨休めをしてから佐渡へ向かいましょうと言う事で、5月24日(金曜日)朝に自宅を出発、圏央道・外環道・東北道で宮城県の作並温泉に向かいました。

例により、SXBと、運転、オペレーター交代で、東北道の大分先まで、DXJ局、OJZ局他各局とQSOしながら楽しくドライブです。

途中、郡山JCTから磐越道回りで、磐梯吾妻スカイラインの塩見峠に登り、QRVしたのですが、残念ながら240各局とは繋がりませんでした、然し、Eスポが開けて、いきなり6エリアの局に呼ばれ一寸驚きましたが、まだ不安定な状態で、59からいきなりダウン、尻切れぎみの**QSO**でした。

翌25日は、のんびり宿を出て、東北道を走り始めると、JG1KDK局に呼ばれ、QSOしながら、磐越道で新潟に向かいましたが、相変わらず1エリアの入感はありませんでした。

途中から、JR6QWW局のブレイクがあり、FBなEスポによるラグチューができましたが、明日も早い時間からEスポが開けそうだなと予感しましたが、結果は案の定で、各局共々苦勞することになったのでした。

そして、いよいよ当日、通常7時半からの朝食を、7時からの早出組に便乗、食事を済ませると、早々に出発です。

以前は、運用地の山の上に国民宿舎があり、すごく便利だったのですが老朽化のため取り壊されてしまい、再建のめどが立たないようで、残念ながら、下の旅館に宿泊、朝になって山へ登るというパターンです。

現地に着き、早速準備ですが、240の20kHz位下に、新潟県内の移動サービスの局が出ていて、すごいカブリです。

SXBが、お声掛けして、QSYをお願いしたのですが、この周波数で発表しているので駄目ですと断られました。

困ったなあと思っている内に、時間は**9**時、実験のスタートとなりました、先ほどの局のカブリだけで無く、Eスポのカブリもどんどんひどくなり、苦勞する実験でした。

今回の反省は、デルタループを先に上げたので、車が移動出来ず、最良地点を探せなくなった事でした、また無線機もサブとして**2**台セットして行きましたが、逆にこれが仇となって、つないでいるアンテナの切り替えを間違え、モービルホイップよりも、

1/2λ ノンラジアルGPをメインに使ってしまいました。

この伝播実験は、モービルホイップでの伝播を探るのがメインで、つながらない時のサブとして、八木アンテナ等を上げたり、自作アンテナの性能テストを行うわけで、それから言えば、一寸どころでは無く大失敗でした。

とは言え、この伝播実験は、240の恒例行事として定着すると共に、お祭りとなっているので、余り固く考えないほうが良いかと、自分を慰めています。

でも、快適なドライブと温泉を楽しみ、皆さんにお相手いただき、無線の方も楽しめました、各局ありがとうございました。

技術講習会で、取りまとめの報告があり、反省や、来年度への希望等、色々ご意見が出るものと思いますが、一寸この伝播実験のスタート時のいきさつについて、少し触れてみます。

今年で、もう **20** 回近くになりましたが、当時は2エリアにも、3エリアにも、東海地方50. 240SSBモービルグループ、関西地方50. 240SSBモービルグループとして、活躍するメンバーが多数いて、賑やかで、5/8λ のアンテナもかなり普及し、通達距離も随分伸びてきました。

そんな頃、2エリアのメンバーだった、JF2XAK加藤氏が、出張で立川に来ている時、JA1FYQ局と一緒に、私の家に遊びに来て、雑談の中で、最近ではモービルの通達距離もかなり遠くまで届くようになったが、1度モービルホイップによる、伝播実験をやったら面白いのでは無いかという話が出て、是非やりましょうという事に成ったのです。

1回目はJA1FYQ局、2回目は私が、固定局でコントロールをするというスタイルで始めたのですが、その後、固定局でのコントロールに限度を感じ、ロケーションの良い場所へ移動してコントロールをするという、現在の方式に変わりました。

また、実施時期は、3月に総会、7月に技術講習会、9月になると関東モービルHAM同好会への参加、忘年会は12月と言えども第1日曜日という事から、間の5月にしましょう、また、実験という事ですので、毎年同時期にやりましょうと言う訳で、5月の最終日曜日が定着しています。

過去のデータでは、大体北方面(7, 0エリア)はお天気が悪かったのですが、少し変わってきたようですし、Eスポの開き方も変わってきました(Eスポのため、440にQSYした事が1回ありました)検討事項ですね。

ともあれ、趣味の世界、楽しく無ければ意味がありません、次回ももっとも楽しい伝播実験になるよう意見交換をしましょう。